ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132F004	社会科授業研究（中等）Ⅱ (Studies in Teaching of Social StudiesⅡ(Junior High School))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫		木4	日本語		オムニバス

担当教員	氏名　黒川，鄭，甘利，青柳，土居，渡邊 E-mail　kurokawa-isao@oita-u.ac.jp　内線
授業の概要	社会科授業研究(Ⅰ)に引き続き、社会科教育学の基礎理論に関する専門的理解を確実に身につけ、授業を確実に分析でき、授業理論を確実に構築できる能力を身につける。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	中学校社会科の基本的事項を確実に理解できる。		○						
目標2	中学校社会科の授業を確実に分析・研究できる。			○					
目標3	中学校社会科の授業理論を確実に構築できる。				○				
目標4	レジュメ、パワーポイントを作成し、プレゼンテーションができる。				○				
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	3	3	4				

授業の内容	
1	オリエンテーション（社会科の教科内容 ）　黒川・渡邊
2	哲学・倫理学の内容研究１（現代の倫理問題・生命倫理）黒川
3	哲学・倫理学の内容研究２（現代の倫理問題・環境倫理）黒川
4	政治学の内容研究１（人権の歴史）鄭
5	政治学の内容研究２　（人権とグローバリゼーション）鄭
6	東洋史の内容研究１（東アジア史に関する授業の意義と目ざすもの）甘利
7	東洋史の内容研究２（東アジア史に関する授業を検討するグループワーク・発表）甘利
8	西洋史の内容研究１青柳
9	西洋史の内容研究２青柳
10	地理学の内容研究１土居（自然災害と現代社会）
11	地理学の内容研究２土居（自然災害に関する情報利用）
12	社会科・公民分野の授業（模擬授業・ICT活用）黒川他
13	社会科・地理分野の授業（模擬授業・ICT活用）黒川他
14	社会科・歴史分野の授業（模擬授業・ICT活用）　黒川他
15	模擬授業の振り返り・まとめ黒川他

アクティブラーニング				
A:知識の定着・確認	○	個人学習、グループ学習で意見交換でき、結果についてプレゼンテーションができる。	その他の工夫	授業研究、理論研究ができるよう可能な限り工夫する。
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向	○			
D:知識の活用・創造	○			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	授業研究、理論構築のための資料・データを収集しておく。授業案を作成する（15時間程度）
	事後学修	収集した資料データを分析整理する。（30時間程度）
	想定時間合計	45

教科書	文部科学省『中学校学習指導要領』 文部科学省『中学校学習指導要領解説社会編』
参考書	時事資料をその都度配布

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	教科内容研究できたかどうか	50%	○	○	○	○						
	授業構想できたかどうか	30%	○	○	○	○						
	プレゼンテーション等の作成	20%	○	○	○	○						
	・各担当者から出された課題（レポート等）に適切に対応して下さい。評価は、各担当者の評価点を合計し、総合評価とします。											

注意事項	
備考	※この科目は『地域創生教育科目』です。
リンク	
URL	